

厚田道の駅2階活用基本構想(たたき台)

■コンセプト 石狩エコミュージアムのハブー人や知識、情報が行き交う厚田の“港”

1 厚田とその周辺地域の自然・歴史・文化の情報を集約

- ・厚田と周辺地域の自然・歴史・文化に係わる資料、標本などを展示する
- ・道の駅に立ち寄った旅行者を周辺の自然遺産、歴史遺産を“見に行ってみよう”という気にさせる。

2 厚田を中心とするエコツアー、フットパスの起点

- ・少人数で地域の自然遺産、歴史遺産を巡り、体感するツアー（エコツアー・フットパス）がここでレクチャーを受け、出発し、帰っていくベースとなる。
- ・ツアーの参加者が体験した情報を再確認し、他の参加者やこれからの参加者と情報共有ができる場。

3 地域の人たちが誇りをもって集い、交流する場所

- ・旅行者と地域の人がともに憩える場所
- ・エコツアー、フットパスのガイドとして来訪者と交流する
- ・展示スペースを使って地域の自然・歴史・文化を語る。
- ・地域の自然・歴史を伝える資料の整理や工芸品の制作をする
- ・厚田の文化を再確認し伝える場所

■ターゲット

- 1 石狩市民(客としてまたボランティアとして。厚田区民に限らない)
- 2 道の駅に立ち寄る旅行者
- 3 エコツアーなどやキャンプなどのアクティビティのために来る人

■空間構成

1 展望室-水平線の博物館(30㎡)

来訪者と地域住民が共に厚田自慢の景色を楽しむ。夕陽や星空、グリーンフラッシュ。

2 交流スペース(150㎡)

一般利用者（たまたま来た人）

観光客（厚田の自然歴史に興味があつて来た人）

地元住民（ガイド、工芸品等の製作、収蔵品のクリーニング等）

みんなが、お茶を飲みながらくつろいだり、作業をしたり、話しがけきる空間

資料や地図を広げ、厚田の自然、史跡などこれから現地に向かう作戦室
古い写真を見ながら厚田の歴史を語れる場

3 厚田の自然、歴史展示コーナー(100㎡)

- ・厚田の自然遺産、文化遺産の概要を知る。
例えば…望来の地層と化石、石狩油田・厚田油田、ニシン漁とニシン文化、北前船と海の道などなど

4 厚田の文化資料室(80㎡)

- ・厚田が生んだ作家子母澤寛と戸田城聖の文学と画家三岸好太郎を展示。アクリルなど絵画の展示や企画展示も行う。
※絵画の展示可能な温度湿度管理可能なスペース

5 什器類の収蔵室、資料の保管庫(20㎡)、スタッフルーム(更衣室等20㎡)

■展示内容 現地(サテライト)と連動

1 厚田を中心とする自然遺産

厚田油田、石狩油田
望来層と化石(貝化石、クジラ化石)
厚田川のサケ遡上
聚富原生花園
海岸のカシワ林
千本ナラ
浜辺の現象(夕陽、グリーンフラッシュ、蜃気楼)

2 厚田を中心とする歴史遺産

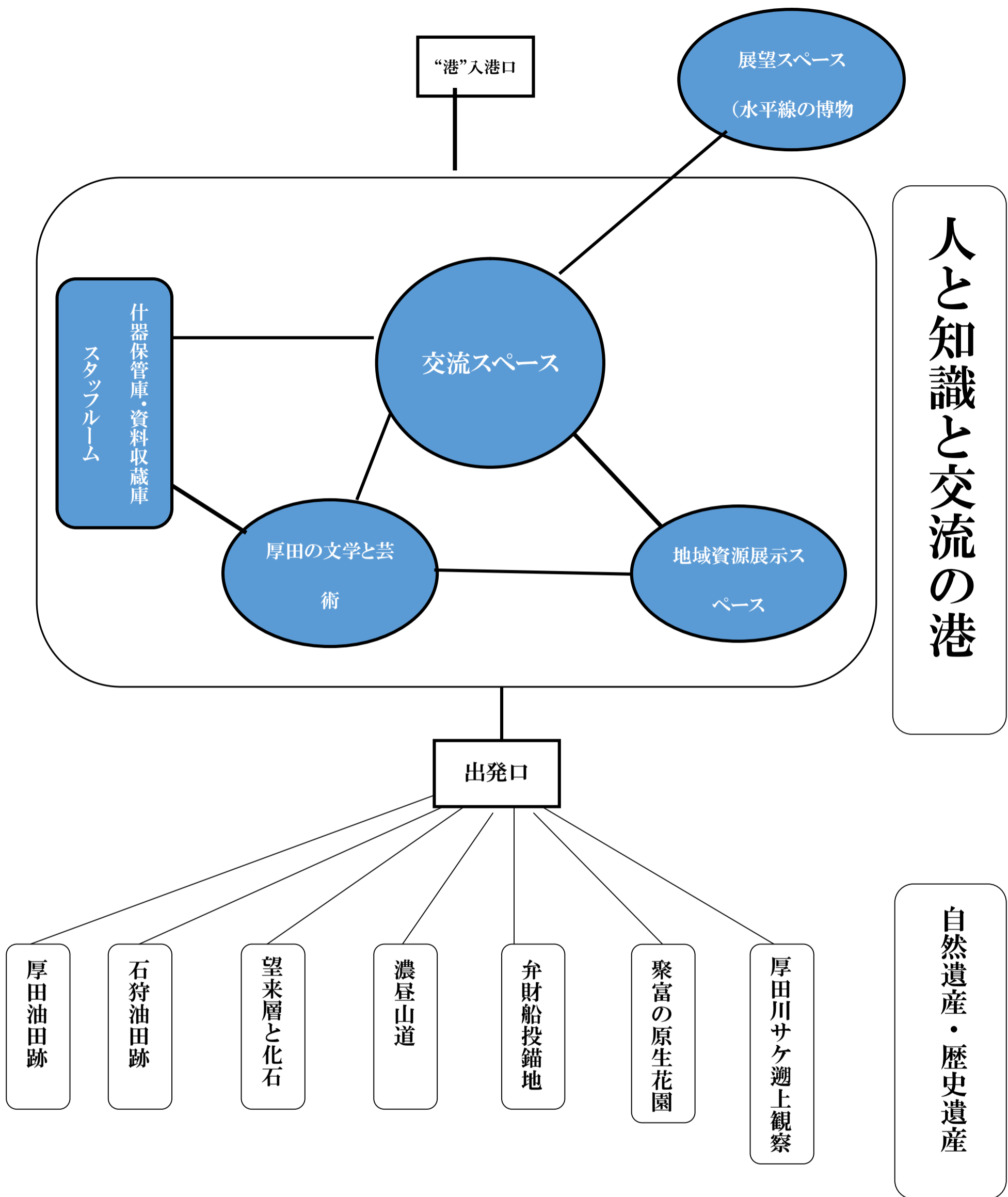
北前船
ニシン漁とニシン文化の広がり
望来獅子舞
濃昼山道、送毛山道、増毛山道
歴史的建物
著名人

3 厚田の文学と芸術

子母澤寛
戸田城聖
三岸好太郎と厚田の絵画芸術

■その他

- 1 入館無料、誰でも出入り自由な空間に!
- 2 1階と2階が連動する開放的なレイアウト(1階から2階が良く見える?)
- 3 厚田の住民が誇りを持てるようなグレード感



“港”入港口

展望スペース
(水平線の博物)

什器保管庫・資料収蔵庫
スタッフルーム

交流スペース

厚田の文学と芸術

地域資源展示スペース

人と知識と交流の港

出発口

厚田油田跡

石狩油田跡

望来層と化石

濃昼山道

弁財船投錨地

聚富の原生花園

厚田川サケ遡上観察

自然遺産・歴史遺産

空間構成の概念図

(20151216)

